

J-Challenge2024 災害対応、感染症対策について

主の御名を賛美申し上げます。

「J-Challenge2024」(全国福音自由教会中高生キャンプ)の開催がいよいよ近づいてきました。神さまの守りと皆さまの祈り、ご支援により、ここまで備えられてきたことを心より感謝しております。

さて、去る 8 月 8 日(木)16 時 43 分、宮崎県の東南東、日向灘を震源とする地震が発生しました。その後、気象庁は南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」を発表し、大規模地震が発生する可能性が平常時より高まっているとして注意を呼び掛けています。また現在、新型コロナウイルスの流行時期にも入っています。そこで、J-Challenge 開催にあたり、実行委員会としての対応、対策とお願いを以下の通り皆様にお知らせいたします。

○南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」への対応

①J-Challenge2024 は予定の日程で開催します。

・「巨大地震注意」とは「日頃からの備えを再確認し、必要に応じて自主的に避難する」ことが行動の指針となっています。相対的に地震発生の可能性は高まったものの、不確実性が高いため、地震への備えをすることで被害の軽減を目指すものです。よって、実行委員会では地震への備え、現地の避難体制を確認しつつ開催することと判断しました。

②J-Challenge2024 開催地(愛知県美浜少年自然の家)での地震への備え・避難体制

- ・ハザードマップにより、現地施設は海拔 24mにあり、巨大地震発生時の最大津波想定よりも高い場所にあるため、「指定緊急避難場所」となっており、一定の安全性があることを確認しました。
- ・随時補充、配布予定であった水を、1 日目から配置し、キャンプ期間中の備蓄とすることとしました。
- ・現地施設には、ある程度の町民向けの備蓄があることを確認しました。
- ・避難経路等について、現地職員の方にオリエンテーションで確認していただくこととしました。
- ・緊急時の連絡体制について再確認しました。

③その他

- ・移動中、現地での食料等備蓄は難しいため、改めて参加者に一定の食料(お菓子、ある程度の飲料)持参を呼びかけることとしました。
- ・バス会社は「巨大地震注意」での特別な対応はなく、「警戒」となってから対応していく方針であることを確認しました。
- ・新幹線は三島～三河安城間で減速運行しているため、10 分程度遅れる見込みであり、利用者の送迎等の影響について確認しました。

○新型コロナウイルス感染症への対策とお願い

①キャンプ参加前のお願い

・当日出発前に、必ず検温、体調をご確認ください。平熱より 1℃高い、あるいは 37.0℃以上、または風邪症状がある際には、必ず新型コロナウイルス抗原検査を行ってください。

②現地での感染症対応

・キャンプ期間中は 3 名の看護チーム(看護師資格あり)が体調不良等に対応します。キャンプ期間中の治療、療養は保護者と連絡を取り、看護チームとともに対応していきます。仮にすぐに帰宅困難な場合は現地教会の協力を得るよう準備しています。

J-Challenge2024 実行委員会
委員長 山田良輝